

みんなでやろう！ ゼロカーボンアクション

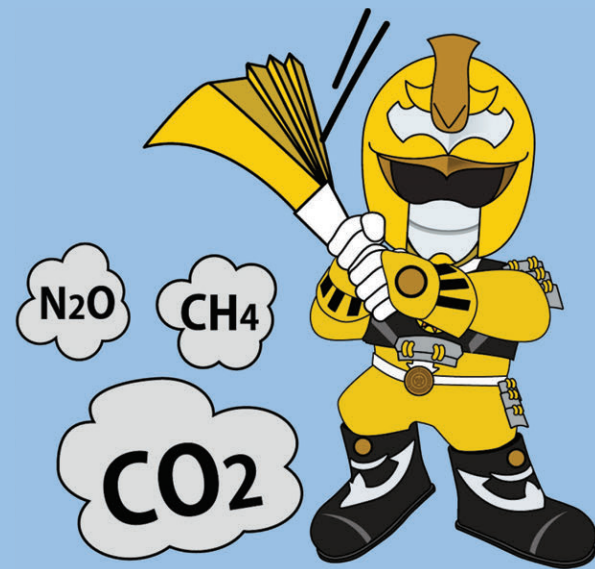
わたしたちは日々の生活のなかでひとりあたり年間
で約1.8t-CO₂の二酸化炭素を排出しています。
地球温暖化防止のために、暮らしのなかでできる
ことから始めてみましょう。

おうちで

- ☐ エアコンの設定温度は冷房は28度、暖房は20度を目安にする
- ☐ テレビは見ているときは消す
- ☐ 冷蔵庫は詰め込みすぎず、余分な開閉は減らす
- ☐ 温水洗浄便座は使わないときはふたを閉める
- ☐ 省エネルギー型家電や照明を導入する
- ☐ 節水を心がける
- ☐ 服装で温度調節をする（クールビズ、ウォームビズ）
- ☐ 受取時間の指定や宅配ボックスを利用して
宅配便の再配達を減らす
- ☐ ごみを正しく分別する
- ☐ 食材を上手に使い切り、食品ロスをなくす
- ☐ テレワークなど働き方を工夫する



3R推進



おでかけで

- ☐ 公共交通機関を使う
- ☐ 自転車で行く
- ☐ 歩いて行く
- ☐ 車の運転はエコドライブを実践する
- ☐ エコバッグやマイボトルを持ち歩く



おかいもので

- ☐ フリーマーケットやリサイクル店を利用する
- ☐ プラスチック使用の少ない商品を選ぶ
- ☐ てまえどりで食品の廃棄を減らす
- ☐ 地元の食材を選ぶ
- ☐ 長く着られる服を選ぶ



岡崎市地球温暖化対策実行計画 （区域施策編）【概要版】



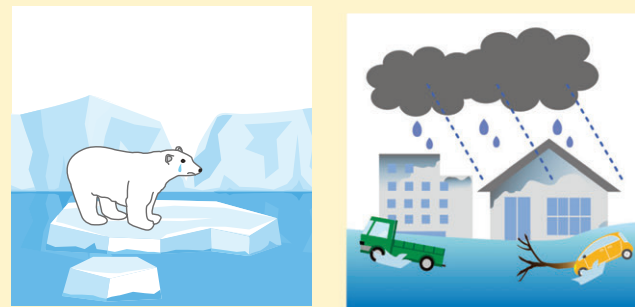
未来環境創造戦士エコマンダーとは、岡崎市の環境を守るヒーロー5人組です。

地球温暖化とは？その影響は？

地球温暖化とは、人間の活動が活発になるにつれて、地球全体の平均気温が上昇している現象の事です。大気中の二酸化炭素濃度の上昇が温暖化の要因とされています。

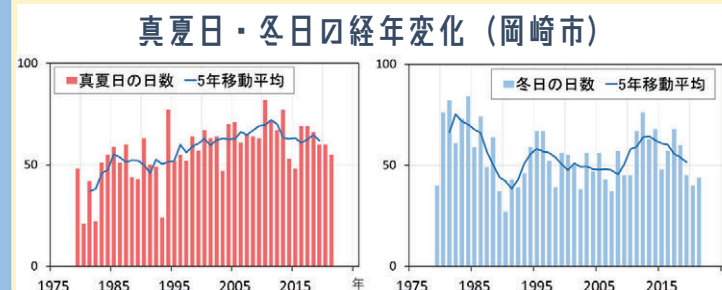
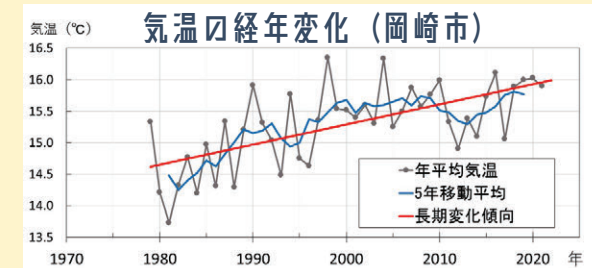
この地球温暖化により、世界の年平均気温は100年間で約2℃上昇しています。

地球温暖化による気候変動により、集中豪雨などの災害の発生が懸念されています。



岡崎市の過去と現在

岡崎市の平均気温は年々少しずつ上昇しています。一日の最高気温が30℃以上の真夏日の日数は増加し、一日の最低気温が0℃未満の冬日は減少しています。



岡崎市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）【概要版】

発行：岡崎市
編集：岡崎市環境部ゼロカーボンシティ推進課
〒444-8601 岡崎市十王町二丁目9番地
TEL 0564-23-6401 FAX 0564-23-6536
E-mail zerocarbon@city.okazaki.lg.jp
2023（令和5）年3月発行



へらす・つくる・ためる（家計、会計、社会、環境にもやさしい）脱炭素

基本方針と基本施策

2050年ゼロカーボンシティの実現に向け、6つの基本方針と、基本方針ごとの基本施策を設定します。

基本方針① 再生可能エネルギーで暮らすまち

- 基本
施策
- ①再エネの導入推進
 - ②再エネの活用促進
 - ③再エネの新しい使い方の促進
 - ④脱炭素建築物の普及促進
 - ⑤再エネの促進区域の設定

基本方針② ゼロカーボンアクションが浸透したまち

- 基本
施策
- ①脱炭素な生活様式への転換促進
 - ②事業活動における脱炭素化の促進
 - ③エコドライブの普及促進
 - ④自転車等の利用促進
 - ⑤3Rの推進
 - ⑥環境教育・啓発の推進

基本方針③ エコな暮らしをしようまち

- 基本
施策
- ①省エネルギー型機器の導入促進
 - ②次世代自動車の導入促進
 - ③公共インフラの利便性向上
 - ④地産地消（地消地産）の推進

基本方針④ 豊かな自然の恵みがもたらされるまち

- 基本
施策
- ①森林の保全・整備の推進
 - ②中山間地域の活性化の推進
 - ③市産材の利用促進

基本方針⑤ 気候変動に適応した安全なまち

- 基本
施策
- ①災害への適応策の推進
 - ②健康被害への適応策の推進
 - ③水循環総合対策の推進
 - ④農林業での適応策の推進
 - ⑤気候変動に関する情報収集・発信

基本方針⑥ 多様な連携により脱炭素化を加速するまち

- 基本
施策
- ①市民協働による取組の推進
 - ②次世代産業への取組支援
 - ③業種間連携による取組の推進
 - ④公民連携による取組の推進
 - ⑤都市間連携による取組の推進

将来像イメージ



2050年度

温室効果ガス排出量

実質ゼロ

2030年度

温室効果ガス排出量

2013年度比 **50%削減**

2013年度

温室効果ガス排出量

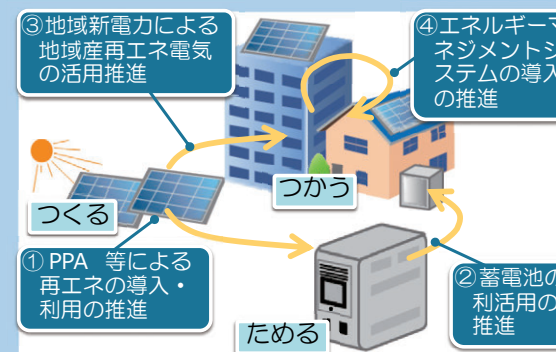
2,832千t-CO₂

重点プロジェクト

2030（令和12）年度の温室効果ガス削減目標を達成するため、特に事業効果の高いものを重点プロジェクトとして設定します。
対象を明確にするため、「再エネ」「事業者」「市民」「交通」「森林」「市役所」の6つのプロジェクトに分けます。

プロジェクト1 > 再エネ

岡崎さくら電力を中心とした再生可能エネルギーをスマートに使いこなすプロジェクト



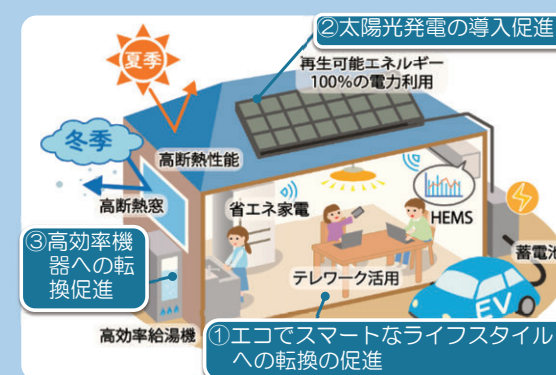
プロジェクト2 > 事業者

事業者の行動変容、事業所の脱炭素化促進プロジェクト



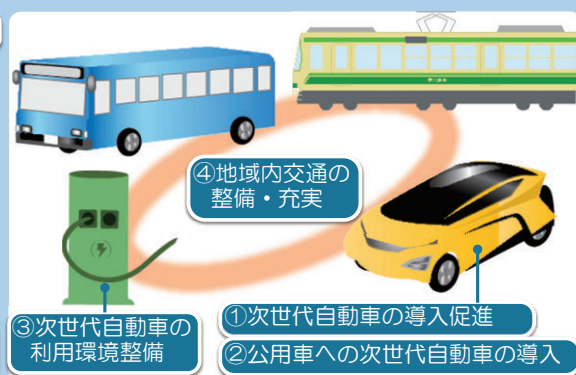
プロジェクト3 > 市民

市民の行動変容、再生可能エネルギー導入促進プロジェクト



プロジェクト4 > 交通

交通環境の次世代化促進プロジェクト



プロジェクト5 > 森林

森林整備から始まる中山間活性化プロジェクト



プロジェクト6 > 市役所

公共施設の脱炭素化100%推進プロジェクト

